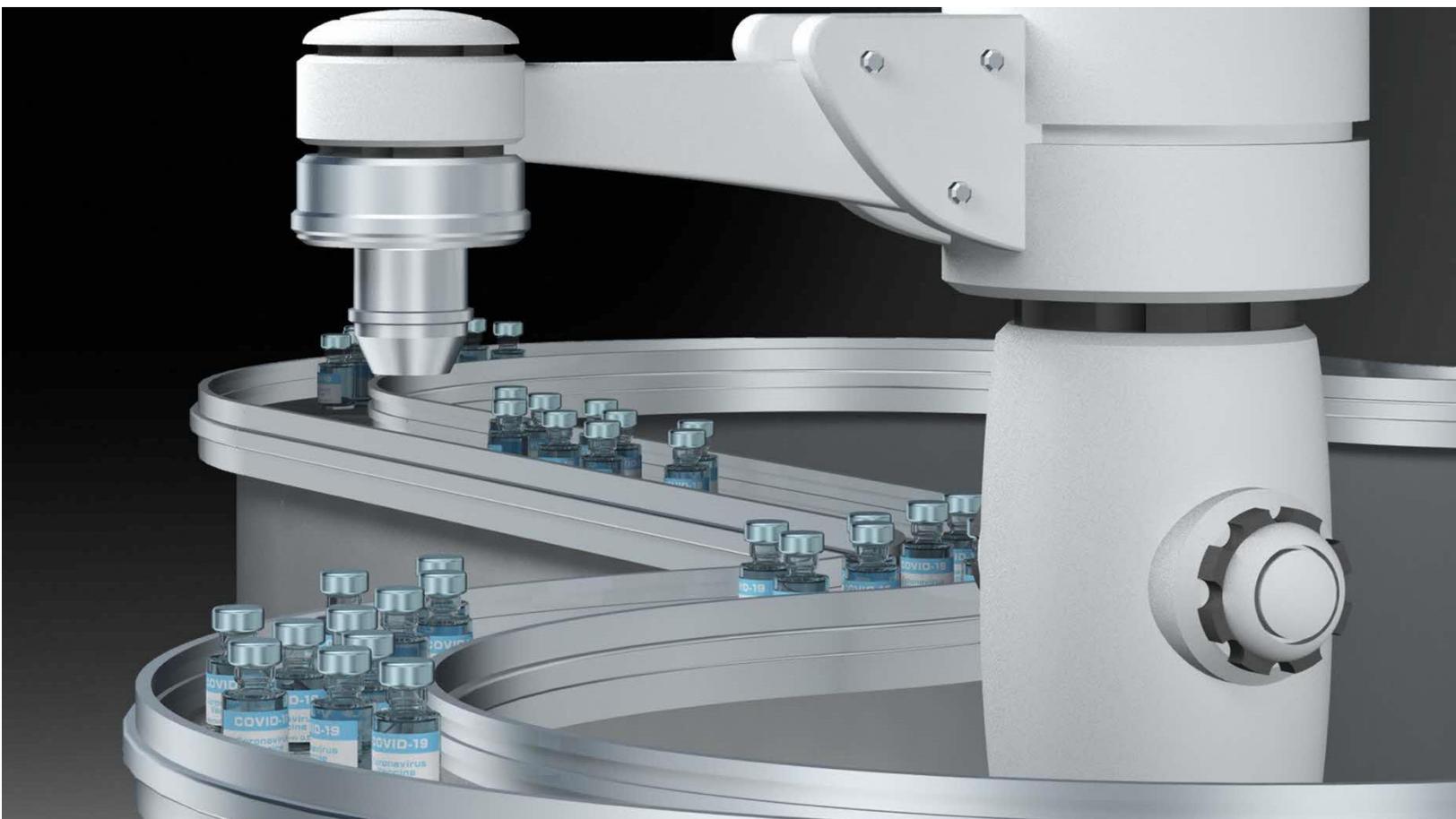


□ ■ タイのメディカルハブを目指す製薬業界の未来展望 ■ □



こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、グラフです。

タイの製薬業界は、これまで主にジェネリック医薬品の製造に重点を置いており、それ以外の医薬品のほとんどは輸入に頼っているのが現状です。しかし、近年の技術の進歩と、世界のメディカルハブを目指し医療関連産業の発展を支援するタイ政府の取り組みにより、今後国を上げて高付加価値医薬品の研究開発が進む可能性が高まっています。

医療産業は、タイ政府が長期的に目指す経済社会のビジョンである「Thailand4.0」において、重点的に推進している新たな成長産業（New S-Curve）の1つです。タイの医療サービスの潜在力を見ると、製薬業界の発展を後押しすることは、タイの医療産業のバリューチェーンを補完する上で大変重要であることが分かります。

本記事では、タイの製薬業界の現状、動向、課題、および将来の展望について解説いたします。

・タイの製薬業界の現状と動向

現在のタイの製薬業界の発展は限定的です。前述の通り、ジェネリック医薬品の製造が主であり、国内生産量の90%以上が国内使用向けです。しかし、高齢化社会の到来やタイ人の健康意識の高まりに伴う医療サービス需要の継続的な増加のため、タイの製薬市場は大きな成長の余地があります。国内の製薬市場規模は、2019年から2022年までの年間5%の成長率から、今後3年間は年間6~7%に加速し、2027年には市場規模が約32万億バーツに達すると予想されています。

また、慢性の非感染症を患うタイ人の割合が増加傾向にあることから、継続的な治療のための医薬品、特に先発医薬品と同等の効能を持ち、輸入医薬品よりもはるかに安価なジェネリック医薬品の需要が見込まれます。これにより、より多くのタイ人が医療サービスを受けられるようになります。タイ政府は、国内市場の成長に対応するため、製薬業界の発展を加速させるとともに、輸出向け生産の拡大も推進しています。特にASEAN市場が有望視されています。

・今後注目すべきタイのファーマテックのトレンド

タイの製薬業界が新薬の研究開発へと展開していくためには、ジェネリック医薬品の製造だけでなく、先進技術を活用した高付加価値医薬品の生産が不可欠です。以下は、タイで注目すべきファーマテック（製薬技術）のトレンドです。

1. Generative AI

医薬品の処方開発を加速させることが可能となります。AIを活用することで、臨床試験での副作用をより正確に予測することができ、医薬品の有効性と安全性を高めることができます。

2. データドリブン^{※1}の医薬品とパーソナライズド医療

個人の遺伝子情報、治療データ、その他の健康データを組み合わせて医薬品を開発することで、遺伝的欠陥によって引き起こされる疾患の治療に役立てることができます。

※1 データドリブン（Data Driven）とは：売上データやマーケティングデータ、WEB解析データなど、データに基づいて判断・アクションする事です。この場合は個人の遺伝子情報、治療データなどを指します。

3. バイオテクノロジー

バイオ医薬品、特にモノクローナル抗体^{※2}の開発に重要な役割を果たします。モノクローナル抗体は、がんの分子標的薬^{※3}など、様々な疾患の治療に使用するためにバイオ物質として開発されたタンパク質です。これにより、がん細胞を効果的に除去し、副作用を軽減することができます。

※ 2モノクローナル抗体とは：体内に侵入した細菌やウイルスなどの異物（抗原）から体を守るために「抗体」がつくられます。抗原にあるたくさんの目印（抗原決定基）の中から1種類（モノ）の目印とだけ結合する抗体を、人工的にクローン（クローナル）増殖させたものをモノクローナル抗体といいます。分子標的薬など、がん細胞の特定の抗原に結合する薬などに利用されています。

※ 3分子標的薬とは：がん細胞に特異的に発現する特徴を分子や遺伝子レベルで捉えてターゲットとし、がん細胞の異常な分裂や増殖を抑えることを目的とした治療薬です。がん細胞の特定の分子だけを狙い撃ちにするので、正常な細胞へのダメージが少なく、従来の抗がん剤と比べると体への負担も少ないです。

・タイ政府の製薬業界支援策

タイ政府は、製薬業界に関連する投資を後押しするため、様々な政策を打ち出しています。

1. BOI の投資奨励措置

医薬品有効成分（API）の製造業者には8年間、現代医薬品の製造業者には5年間の法人所得税の免除の恩典を付与することで、医療関連ビジネスや医薬品への投資を促進します。

BOI による医薬品製造業とバイオテクノロジー事業への投資インセンティブ表

No.	事業/条件	事業グループ	インセンティブ
1	医薬品の有効成分（Active Pharmaceutical Ingredient: API）または医薬品原料の製造	A2	法人所得税を8年間免除
2	(ア) 申請時の保健省が発表する必須医薬品リストに基づく医薬品の製造。操業開始後2年以内にPIC/SガイドラインによるGMP認証を取得すること。	A2	法人所得税を8年間免除
	(イ) PIC/SガイドラインによるGMP認証を操業開始後2年以内に取得する、現代医薬品および伝統医薬品の製造	A3	法人所得税を5年間免除
3	バイオテクノロジーを使用する研究開発および/または医薬品製造	A1	法人所得税を8年間免除 (金額上限なし)
	医薬品製造業に対する経済特区のインセンティブ：ターク県、サケーオ県、チェンライ県、ナコーンパノム県、カンチャナブリ県、ナラーティワート県	ターゲット産業	法人所得税を8年間免除+さらに5年間50%減税

事業グループ：

A1：設計、R&Dに注力し、タイの競争力を高める知識集約型産業。

A2：国の発展のためのインフラ開発事業および高度技術を使用して付加価値を創出するが、投資が少ないまた

は投資がまだない事業。

A3：高度技術を使用し、投資が既にある事業。

出展：BOI

2. 東部経済回廊（EEC）※⁴による税制優遇

製薬業は新たな成長産業（New S-curve）の1つに位置づけられているため国内で低コストで医薬品の研究開発ができるようになると期待されています。特に高度技術を用いた医薬品の製造について、政府は研究資金を援助し、税制優遇措置を講じる予定です。

※⁴ EEC(東部経済回廊)とは：タイ東部の3県(チャチュンサオ、チョンブリ、ラヨーン)において、タイ政府が推進している大規模な経済開発プロジェクトです。この取り組みは、先端技術を活用した製造業などの企業誘致を通じて、産業構造の高度化を目指すものであり、インフラ整備や各種支援により、投資促進を図っています。EECは、タイ経済の新たな成長エンジンとして位置づけられており、国の競争力強化と持続的な発展に寄与することが期待されています。

タイ経済の新原動力としての新5産業(New S-Curve)の創造

- | | |
|----|---|
| 01 | 日常生活と工業専用のロボット産業 |
| 02 | ウタパオ空港区域航空技能センターも含めた部品、航空機修理センターを備えた タイプの航空産業 |
| 03 | 健康管理を備えた医療産業 |
| 04 | バイオ経済産業、特に生物科学とエネルギー |
| 05 | デジタルテクノロジー産業 |



出展：[EEC](#)

3. 国内医薬品製造業振興策（2023-2027年）

医薬品の生産額を1,000億バーツ以上、輸出額を130億バーツに拡大することを目標としており、国の医薬品安全保障を確立するための施策です。

4. BCG（バイオ・循環型・グリーン）※⁵経済

経済モデルによる推進戦略（2021-2027年）で、生物多様性から医療・健康製品への展開を支援し、医薬品・ワクチン市場に付加価値を与え輸入を減らすことで、国民が高価な医薬品をより安価に入手、利用しやすくなります。

※ 5 タイの BCG(バイオ・循環型・グリーン)経済とは：持続可能な発展を目指す経済モデルであり、以下の 3 つの要素を柱としています。

Bioeconomy (バイオエコノミー)：再生可能な生物資源を活用し、バイオテクノロジーを応用することで、食品、エネルギー、製品などを生産する経済活動。

Circular Economy (循環型経済)：資源の効率的な利用と廃棄物の最小化を図る経済システムで、リデュース・リユース・リサイクルを通じて、資源の循環を促進する。

Green Economy (グリーン経済)：環境に配慮した経済活動を推進し、低炭素社会の実現や生態系の保全を目指す。

・課題と展望

今後の成長を図る上で、タイの製薬業界はいくつかの課題に直面しています。

まず、医薬品開発・製造に必要な能力の不足が挙げられます。国内で製造される医薬品はジェネリック医薬品が中心で、その原材料のほとんどを海外から輸入しています。また、高度な技術を必要とする医薬品のほとんどが輸入品のため、価格が高価であるというコスト面での課題があります。

次に、外国人投資家の増加や他産業からの参入による競争の激化、GMP-PIC/S^{※6}基準への適合やインフラ整備によるコスト負担の増加なども、製薬業界が直面する課題です。こういった問題については、タイ政府がタイを世界のメディカルハブにすることを推進しているため、課題解決のために国内での医薬品生産を促進する政策が打ち出されています。例えば、BOI の投資奨励プロジェクトや、将来的にタイでの医薬品研究開発を容易にするための規制改正の可能性などです。そのため、今後の環境の改善が期待されています。

※⁶GMP-PIC/Sとは：医薬品の製造と品質管理に関する国際的な基準です。GMP は高品質の医薬品を製造するための規範であり、PIC/S は各国の GMP を調和させるための組織です。タイは 2016 年に PIC/S に加盟し、これによりタイでの製薬会社は PIC/S の基準に適合する必要があります。GMP-PIC/S への対応は、タイの製薬産業の国際競争力と医薬品の品質・安全性の向上に重要な役割を果たします。

・最後に

タイ政府の支援策と、医療産業の発展を背景に、タイの製薬業界は今後大きな成長が期待されます。課題はあるものの、イノベーションと戦略的なアプローチにより、タイはアジアのメディカルハブとしての地位を確立し、製薬業界もさらに発展すると期待されています。

そんなタイの製薬市場は、高度な技術を持つ外国企業にとって、大きなビジネスチャンスがあると言えます。タイの国内メーカーはほとんどがジェネリック医薬品を製造しているため、特に先進的な技術を持つ企業には参入

の余地があります。タイ市場への参入と、将来のメディカルハブとして成長するタイを拠点とした ASEAN 市場の
今後注目が集まります。

参考 1 : [SCBEIC](#)

参考 2 : [Krungsri Research 1](#)

参考 3 : [JETRO](#)

参考 4 : [NSTDA](#)

参考 5 : [EEC](#)

□ ■ SUGOI JAPAN FEST 2024 ■ □

～日本に関心があるタイ人向けのイベントと、訪日タイ人観光客の傾向～

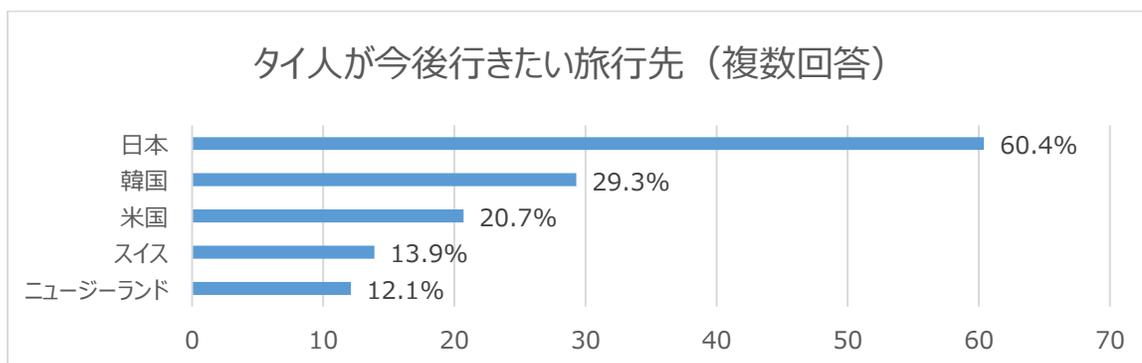


2月22日～25日の4日間、バンコク郊外にあるデパート、ザ・モール バンカピ店にて、タイ人に人気の日本の旅行情報番組「SUGOI JAPAN」が主催するイベント「SUGOI JAPAN FEST 2024」が開催されました。会場はさくらや雪など、今の日本の季節を感じられる装飾が施され、来場者を楽しませていました。出展エリアでは、カニ、寿司、ステーキから焼きそば、たこ焼きまで、様々な料理を提供するブースや、鳥取県や別府市など観光情報を発信するブースなどが賑わっていました。また、会場内のステージではマグロの解体ショーや人気歌手が盛り上げていました。主催者によると、連日1万人を越す来場者があったとのことで、タイにおける日本人気はまだ高いことが伺えます。

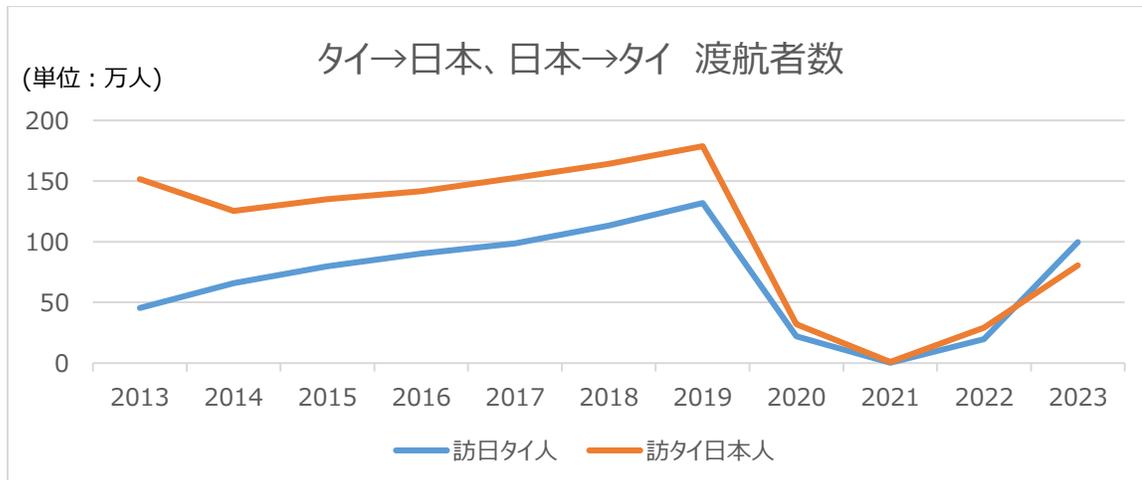
JNTO（日本政府観光局）が行った調査によると、タイ人に人気の海外旅行先は日本ダントツで1位となっており、依然として高い人気を誇っています。かつてはタイ人が日本へ行く際にはビザが必要でしたが、2013

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.114

年にビザが廃止され、それ以降タイ人の訪日観光客数は年々増加が続き、2019年には131万人まで達しました。コロナの影響により2020年～2022年は激減してしまいましたが、隔離や検査なしでの通常渡航が可能となった2023年には100万人弱まで回復をしました。この年は日本を訪れたタイ人がタイを訪れた日本人の数を上回り、タイが初めて対日観光赤字となったことが話題になりました。これは、コロナ後も続いた日本国内の自粛ムードと、急激な円安バース高が理由として考えられています。特に円とバースの為替はこの2年で2割ほど円安が進んでおり、タイ人にとって日本は「安く旅行ができる国」という状態ですので、今後も訪日タイ人旅行者は増加が続くと思われます。



出典：日本政府観光局(JNTO)「VJ 重点市場基礎調査(2023年)」

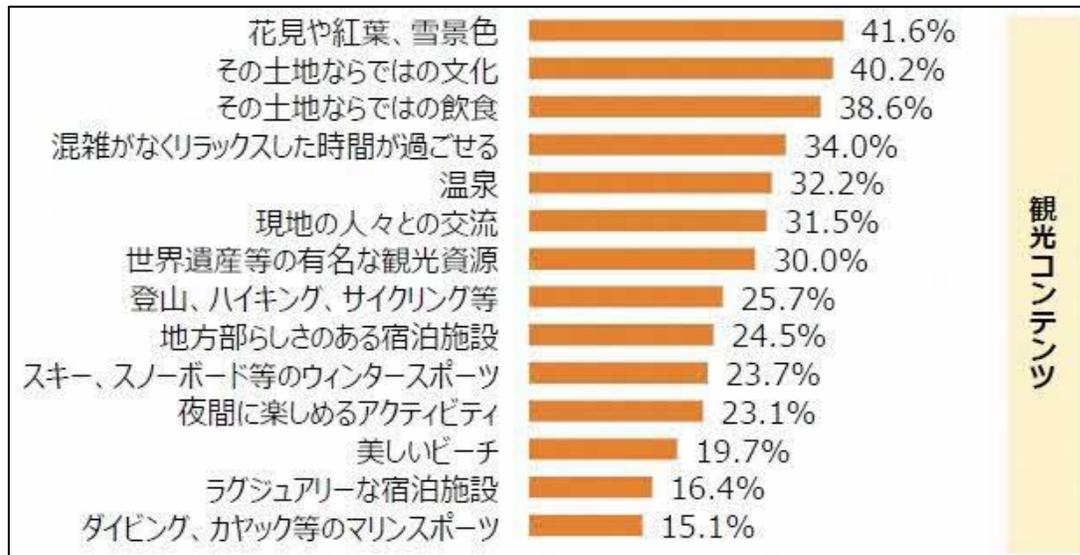


出典：日本政府観光局(JNTO)、タイ政府観光庁

島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.114

JNTO が行った調査によると、タイ人が日本旅行へ行く際の「今後の地方エリアへの訪問意向を高めるもの」として、お花見や紅葉などの自然が全体の約 4 割で 1 番人気、土地ならではの文化とグルメが続いています。それとは反対に、マリンスポーツやウィンタースポーツ、アクティビティなどは下位となっており、傾向としては自然や文化を楽しみながら、美味しい食事を堪能し、ゆっくりのんびり過ごすスタイルがタイ人に人気だと思われます

今後の地方エリアへの訪問意向を高めるもの（タイ）



出典：日本政府観光局(JNTO)「VJ 重点市場基礎調査(2023 年)」

今後求められる課題としては、交通アクセスの充実や施設・サービスのオンラインでの予約、母国語や英語での対応など様々ですが、今、日本を訪れるタイ人の中で地方への関心がとても高まっていますので、島根県へ多くのタイ人観光客が行ってくれることを期待したいです。

□ ■「クライベイビー」 タイ人に大人気のコレクターズトイ ■ □



画像 : mollyfactory

<https://www.facebook.com/mollyfactory/>

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、リンです。

最近タイでは、アートトイをコレクションすることが非常に人気になっています。箱を開けるまでどんなデザインかわからない、「ランダムボックス」の形で販売されているので、コレクターは1つのシリーズを全て揃える楽しみのためにお金を払っています。最も人気のあるアートトイの1つとしてタイで話題となっているのが、タイ人によってデザインされた「クライベイビー」で、価値の高いコレクショントイとなっています。

・アートトイとは何か?なぜ人々はアートトイに魅了されるのか?

アートトイはデザイナートイとも呼ばれ、アーティストやデザイナーによって作られたコレクショントイです。通常、数量限定で販売されるもので、その素材はプラスチック、木材、金属、ラテックス、樹脂など多岐にわたります。

・クライベイビー（CRY BABY）の起源とタイ人の誇りとは？

クライベイビーは、タイのクリエイターである「モッド」ことニサー・シーカムディー(アーティスト界では「Molly」として知られています)のインスピレーションを元に生み出されました。人形とアートへの情熱を持つモッドさんは、人間の感情を具現化する人形の創造を目指しました。その結果、かわいらしく明るいデザインながらも、何となく悲しげな雰囲気を持ったクライベイビー人形が誕生したのです。悲しみや悔しさ、寂しさ、希望といった人間の多彩な感情を表現しています。



画像：mollyfactory

<https://www.facebook.com/mollyfactory/>

クライベイビーがコレクターたちから絶大な人気を誇っている理由は、そのユニークなかわいらしさとデザインコンセプトにあります。「Everybody Cries Sometime」や「Cry Me A River」など国内では展示会が開かれクライベイビーを間近で観ることができ、多くの人々がその魅力に引き込まれ、自身もコレクションを始めるようになりました。

また、モッドさんは中国の有名なおもちゃ販売会社「POPMART」とコラボレーションしました。POPMART から発売されたクライベイビー・モンスター・ティアコレクションは、多くのコレクターからの人気を集めています。

クライベイビーは、常に涙を浮かべている小さな子供が主人公のフィギュアです。その愛くるしい顔立ちは、人々に「時に泣くことがあっても、それは我々が弱いか悲しいということの意味しない」という、人間の感情の深層を鮮烈に反映しています。

モンスター・ティアコレクションは幽霊や悪魔、ハロウィーンコレクションはハロウィーン、ウィンター・ワンダーランドコレクションは冬など、シリーズごとにテーマが異なります。

・クライベイベーアート玩具のコレクションはどのくらいあるのか

クライベイベーは、さまざまなスタイル、サイズ、色、形、コンセプトで作成されています。他のアーティストとの共同デザインによるものや、季節やお祭りなどテーマごとにデザインしてシリーズにすることもあります。2024年時点で、クライベイベーアート玩具には合計7つのシリーズがあります。

また、POPMARTのクライベイベーコレクション商品にはフィギュアだけでなくスマホケース、AirPod ケース、Type-C 充電ケーブルなどのバラエティがあります。



画像 : POPMART

<https://www.popmart.com/th/>

・クライベイベーはどこで購入できますか？

クライベイベーは、Shopee、Lazada といった EC サイトおよび POPMART のサイトや公式ストアから直接購入することができます。その場合はランダムボックスでの購入でどのフィギュアが入手できるかわからないため、狙ったキャラクターデザインがある場合は、信頼できるディーラーや予約ショップから特定のキャラクターの購入をすることもできます。

・最後に

現在、アトイ市場、特にクライベイビーの人気はさらなる高まりを見せています。メインキャラクターとスペシャルキャラクターの両方を所有することが重要であり、その結果クライベイビーの市場価格は継続的に上昇する傾向にあります。アトイの収集を趣味にすることが投資となり、将来的に収入をもたらすかもしれません。

参考

<https://www.thairath.co.th/lifestyle/home/homedecor/2716209>

<https://www.ennxo.com/article/all-crybaby-collections>

<https://readthecloud.co/crybaby-molly/>

<https://xn--22ce0dhf8bc8b8fxa3j.com/cry-baby/>

<https://www.popmart.com/th/>

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください

担当：柴田 隼介 Shunsuke Shibata

Address: 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,

Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

▶ タイ経済指標

項目	単位	2021	2022	2023	2024
GDP 成長率	前年比 (%)	1.8	2.7	1.9	1.9 (2023 年)
人口*	千人	68,161	69,922	70,104	70,119 (1 月)
労働者の数*	千人	38,631	40,143	40,674	40,539 (2 月)
失業率**	%	1.94	1.32	0.98	1.03 (2 月)
最低賃金* バンコク	バーツ/日	331	353	353	363
チョンブリー		336	354	354	361
アユタヤー		325	343	343	350
ラヨーン		335	354	354	361
賃金：全国製造業の平均	バーツ	13,506	14,305	14,416	14,607 (2 月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	1.24	6.08	1.23	0.06 (1 月)
中央銀行政策金利*	%	0.50	1.25	2.50	2.50 (2 月)
普通貯金率**	%	0.25	0.28	0.40	0.43 (3 月)
ローン金利 (MLR) **	%	5.42	5.50	6.83	7.17 (3 月)
SET 指数*	1975 年 : 100	1,657.62	1,668.66	1,415.85	1,377.94 (3 月)
バーツ/100 円**	バーツ	29.15	26.78	24.82	24.05 (3 月)
バーツ/米ドル**	バーツ	31.98	35.06	34.80	35.66 (3 月)
円/米ドル**	円	109.8	131.38	144.07	149.63 (3 月)
車販売台数 (1 月からの累計)	台数	736,716	856,057	702,921	112,044 (2 月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,572	1,554	2,383	2,383 (2023 年)
BOI 認可プロジェクト金額	10 億バーツ	511.9	618.62	750.12	750.12 (2023 年)

*期末、**平均